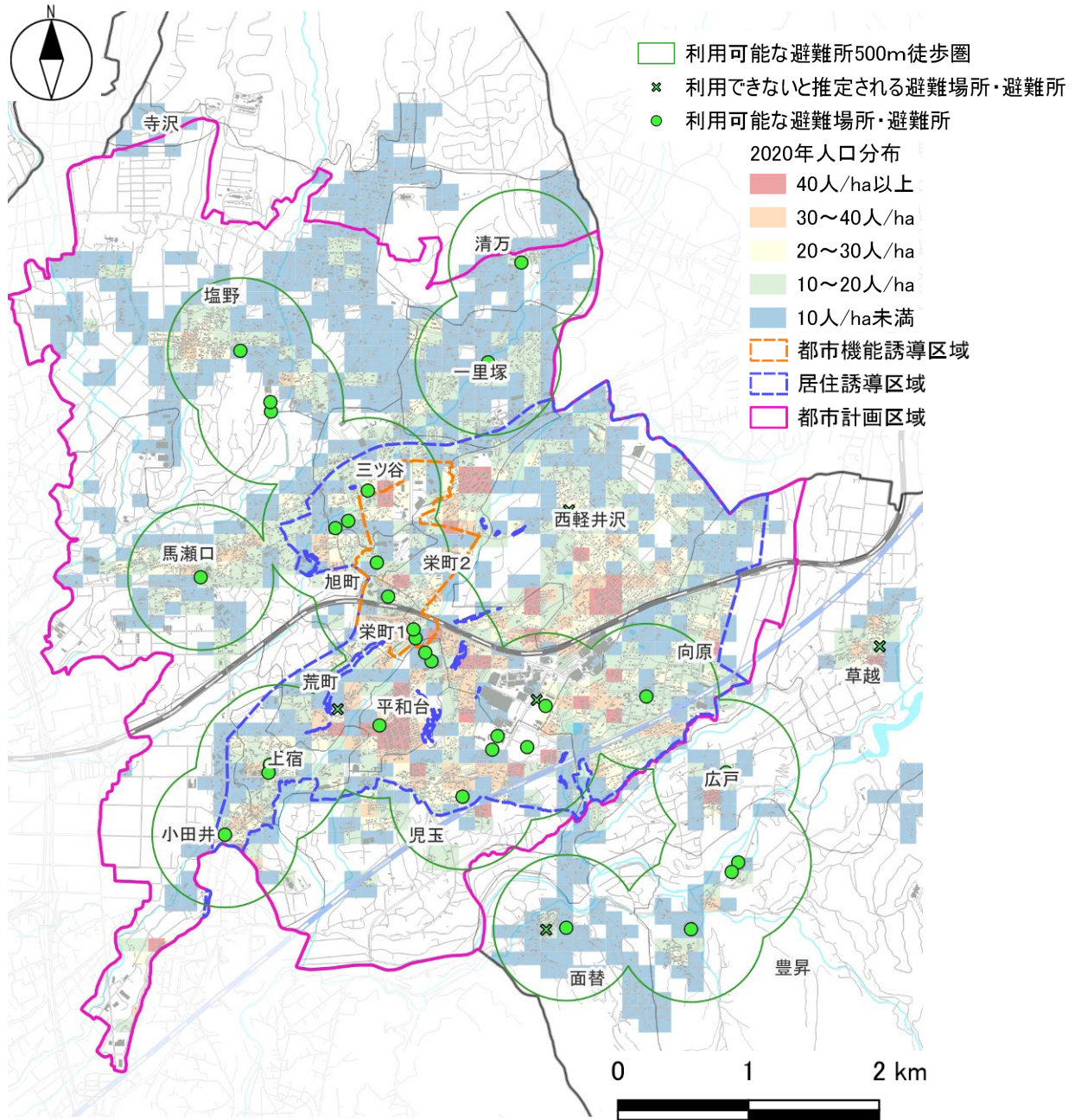


・地震×避難場所・避難所×人口

地震時には御代田町ヘルスパイオニアセンター、荒町公民館、面替公民館、草越公民館、西軽井沢公民館は建物が耐震基準を満たしていないため、指定避難所として使用はできません。

西軽井沢区、草越区、栄町2や向原区の一部は人口が多いにもかかわらず、徒歩圏内に利用できる避難場所・避難所がありません。避難施設の耐震化が課題となっています。

ハザード区域内人口	避難所徒歩圏内人口	避難所収容可能人数
- (全域)	9,792 人 (62.7%)	55,081 人



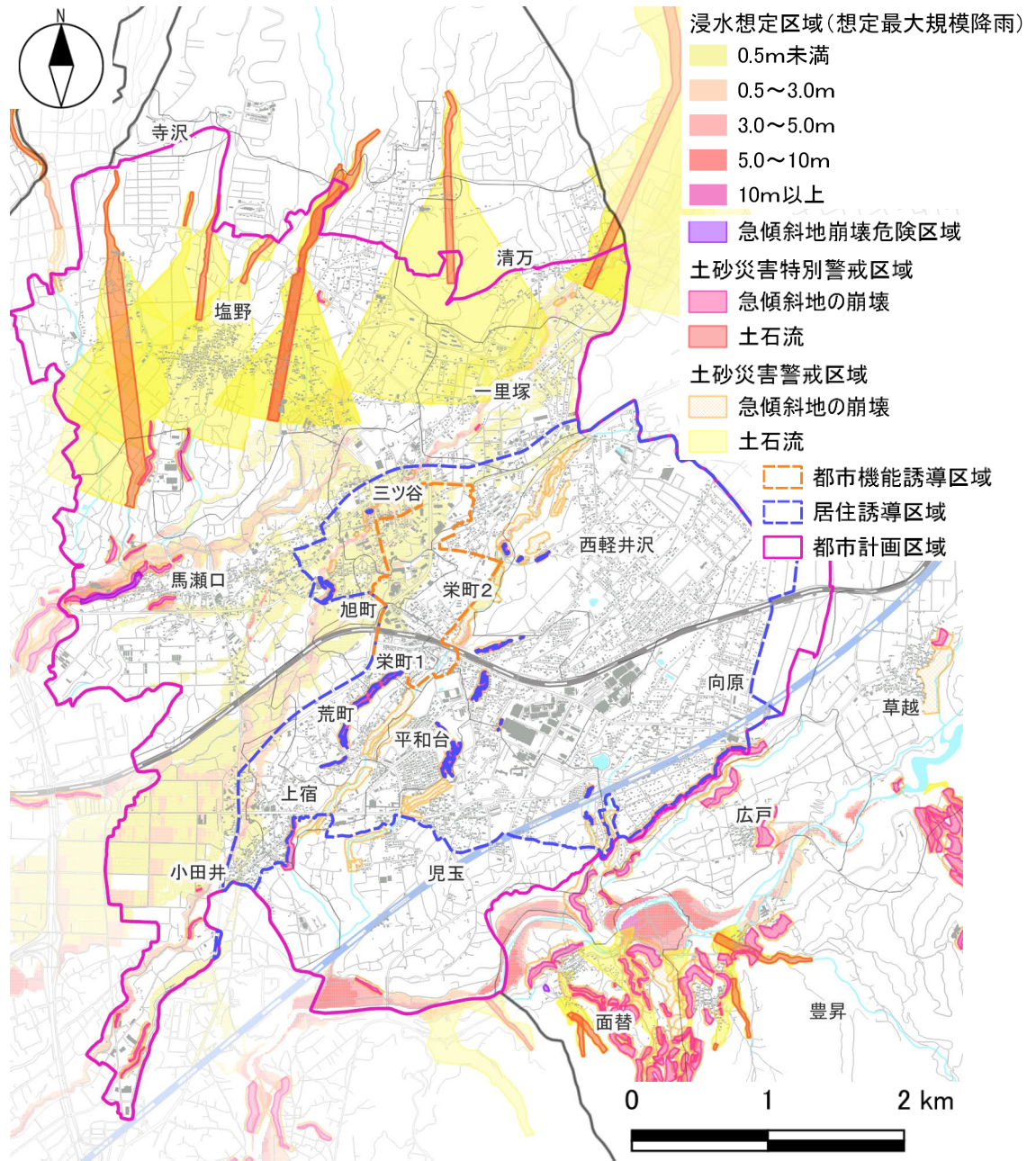
出典：庁内資料

図 地震×避難所×人口

⑤ 複合災害

・洪水×土砂災害

非常に強い豪雨となった場合、洪水と土砂災害が同時に引き起こされる可能性があります。当町は浅間山と森泉・平尾山系に挟まれているため、洪水時の氾濫や土砂が南西方向に流出しやすい地形となっています。そのため、東西方向の道路が寸断され、避難や物資輸送に影響が出るおそれがあります。また、面的に北西部から中心部にかけては面的な広域被害が予想されるため、早期避難が重要です。



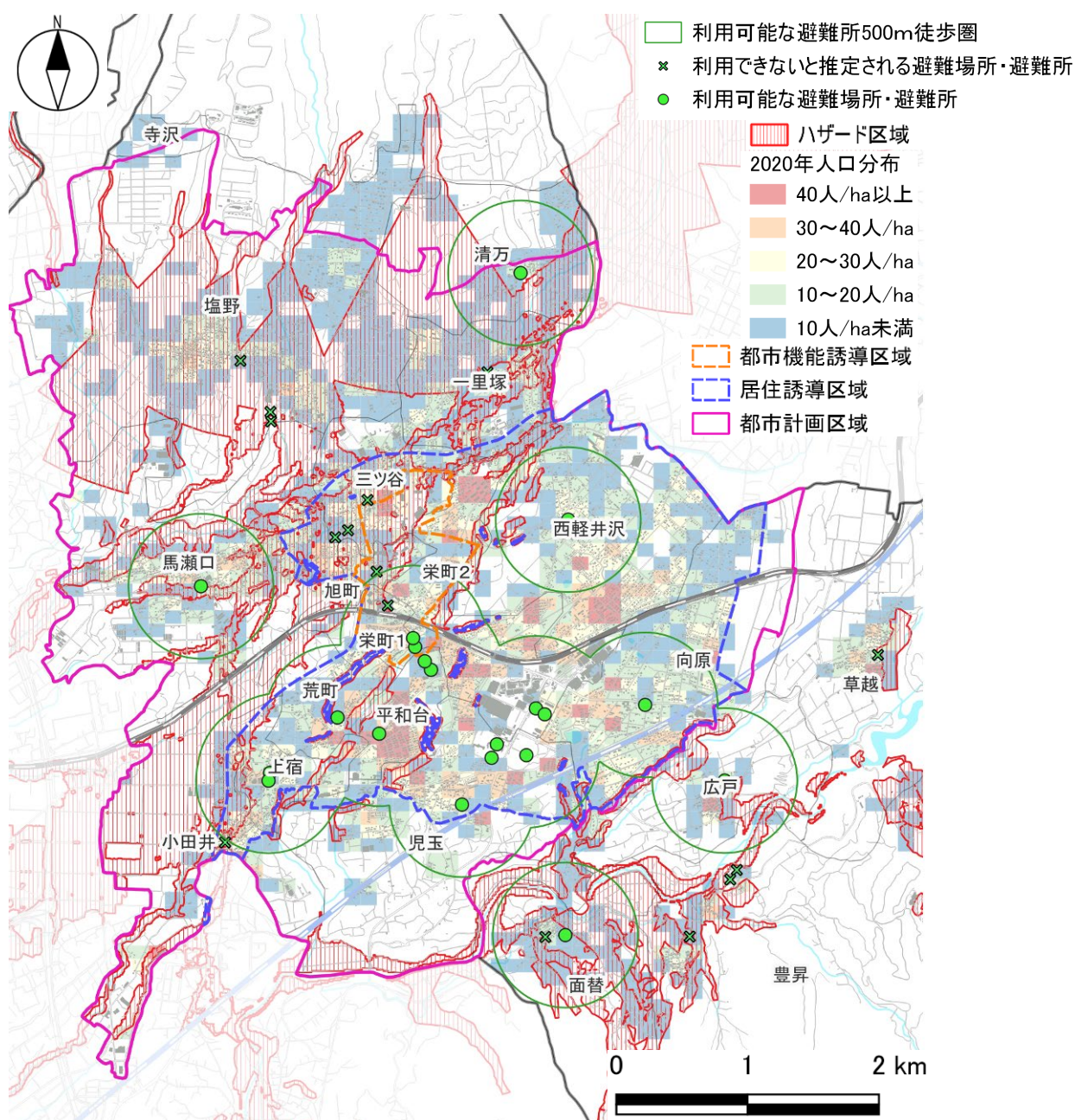
出典：庁内資料

図 浸水想定区域×土砂災害警戒区域

・洪水×土砂災害×避難場所・避難所×人口

洪水と土砂災害が起こり得る範囲の合計面積は約986haで、町内の16.8%を占めます。町の中心部から北部にかけて、人口の多い地域がハザード区域内に含まれ、避難行動に支障が出るおそれがあります。南部の面替区、豊昇区、草越区の集落も主要な道路や利用できる避難所が少ないため、安全な場所への早期避難が必要です。

ハザード区域内人口	避難所徒歩圏内人口	避難所収容可能人数
3,586人 (23.0%)	8,079人 (51.8%)	38,489人



出典：庁内資料

図 浸水想定区域×土砂災害警戒区域×避難所×人口

7.3 地区ごとの課題整理と取組方針

地域ごとの災害リスクに対する課題と取組方針は以下のとおりです。

塩野・清万・一里塚区周辺

- **主な課題** 土砂災害
 - ・集落全域が土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定
 - ・主要道路の寸断により、集落孤立や、避難行動、救援活動が困難になるおそれ
 - ・徒歩圏内の避難場所・避難所不足
- **取組方針**
 - ・居住誘導等による危険回避
 - ・高リスク区域の建築物の外壁、擁壁の強化推進
 - ・法面保護や砂防堰堤整備推進で災害リスクの低減
 - ・事前の災害リスク周知で、災害発生前の避難行動の促進

馬瀬口区周辺

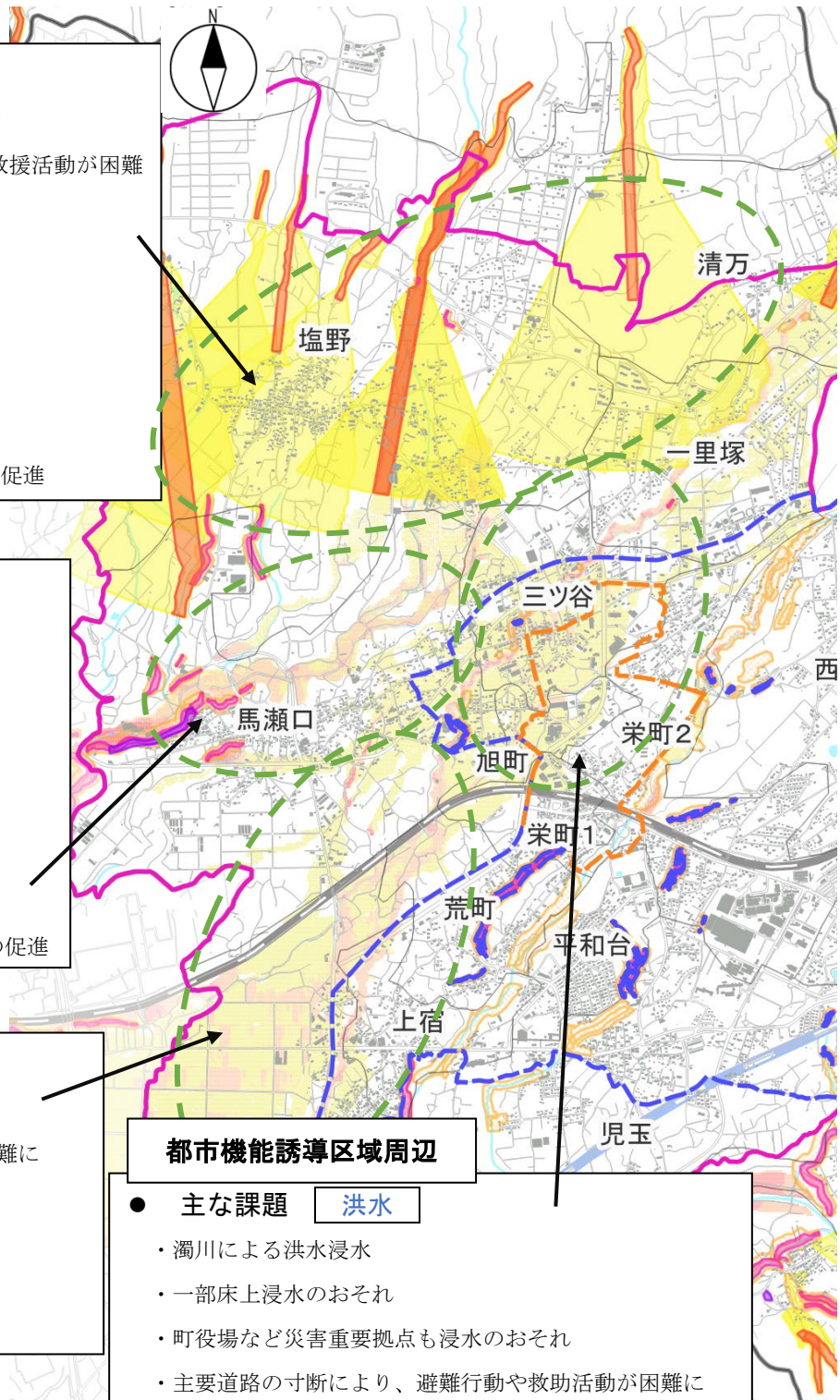
- **主な課題** 洪水
 - ・繰矢川、濁川による洪水浸水
 - ・小諸市との境界で最大15mの浸水
 - ・一部の農地で長期間浸水が継続
 - ・徒歩圏内の避難場所・避難所不足
- **取組方針**
 - ・河川整備の推進で災害リスクの低減
 - ・道路や農地の迅速な復旧・排水体制の充実
 - ・事前の災害リスク周知で、災害発生前の避難行動の促進

小田井・上宿区周辺

- **主な課題** 洪水
 - ・濁川による洪水浸水
 - ・県道9号の30cm以上浸水で自動車の通行が困難に
 - ・一部の農地で長期間浸水が継続
- **取組方針**
 - ・河川整備の推進で災害リスクの低減
 - ・道路や農地の迅速な復旧・排水体制の充実

都市機能誘導区域周辺

- **主な課題** 洪水
 - ・濁川による洪水浸水
 - ・一部床上浸水のおそれ
 - ・町役場など災害重要拠点も浸水のおそれ
 - ・主要道路の寸断により、避難行動や救助活動が困難に
 - ・徒歩圏内の避難場所・避難所不足
- **取組方針**
 - ・河川整備の推進で災害リスクの低減
 - ・宅地の嵩上推進などによる床上浸水被害の低減
 - ・道路、公共施設の迅速な復旧・排水体制の充実
 - ・事前の災害リスク周知で、災害発生前の避難行動の促進



全域

● 主な課題

火山災害

- ・ 広範囲に融雪泥流、火砕流のおそれ
- ・ 主要道路の寸断により、避難行動や救助活動が困難に
- ・ 徒歩圏内の避難場所・避難所不足

● 取組方針

- ・ 垂直避難を可能にするため、住宅の補強促進
- ・ 事前の災害リスク周知で、早期避難の促進
- ・ 大規模噴火に備えた広域避難計画の策定、公表

全域

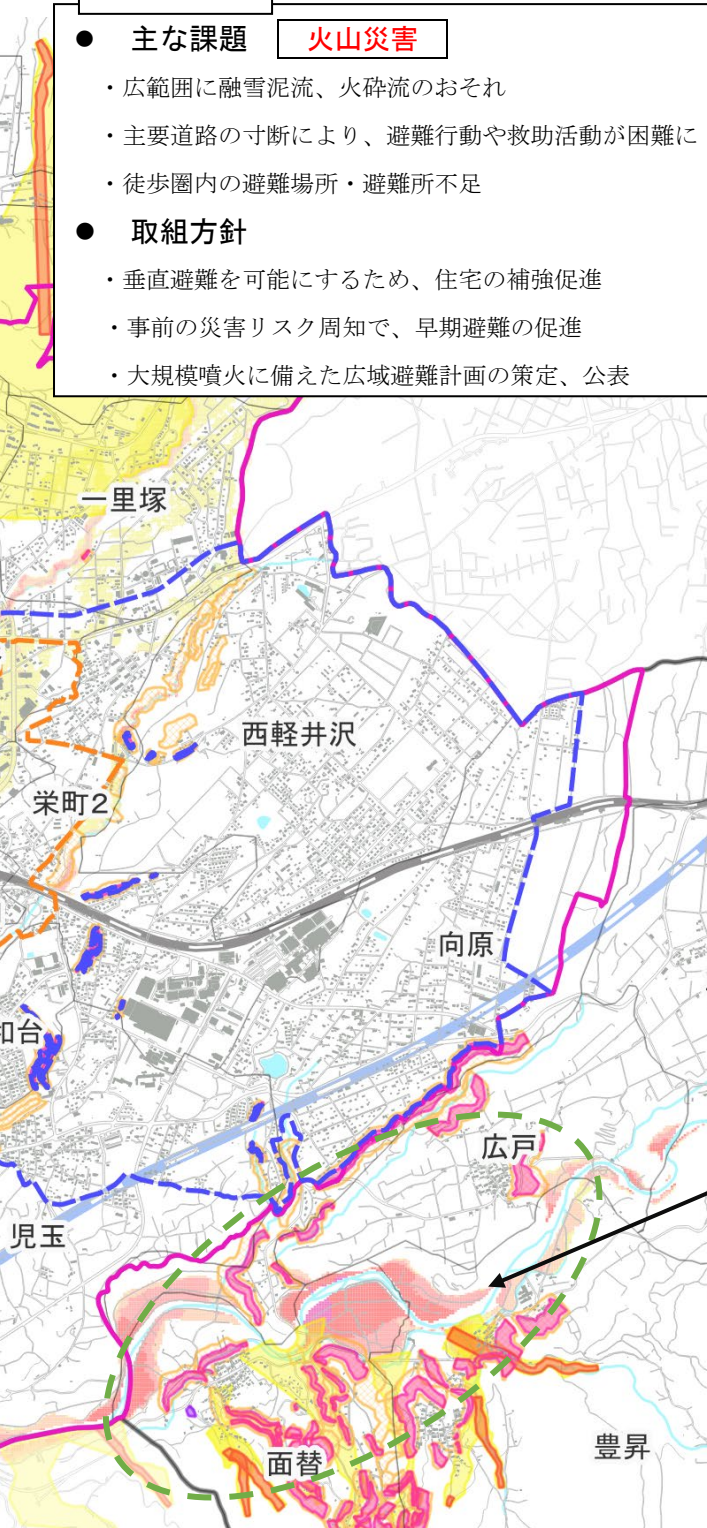
● 主な課題

地震

- ・ 避難所の耐震性不足
- ・ 徒歩圏内の避難場所・避難所不足
- ・ 住宅の耐震性不足

● 取組方針

- ・ 公共施設の耐震改修を促進し、避難可能施設を増加
- ・ 住宅の耐震改修促進



面替・豊昇・広戸区周辺

● 主な課題

洪水

- ・ 湯川による洪水浸水
- ・ 沿岸部で家屋倒壊のおそれ
- ・ 主要道路の寸断により、集落孤立のおそれ
避難行動や救援活動が困難

● 取組方針

- ・ 河川整備の推進で災害リスクの低減
- ・ 道路の迅速な復旧・排水体制の充実
- ・ 事前の災害リスク周知で、災害発生前の避難行動の促進

● 主な課題

土砂災害

- ・ 集落周辺が土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定
- ・ 主要道路の寸断により、集落孤立のおそれ
避難行動や救援活動が困難に
- ・ 徒歩圏内の避難場所・避難所不足

● 取組方針

- ・ 居住誘導等による危険回避
- ・ 高リスク区域の建築物の外壁、擁壁の強化推進
- ・ 法面保護や砂防堰堤整備推進で災害リスクの低減
- ・ 事前の災害リスク周知で、災害発生前の避難行動の促進

7.4 具体的な取組と目標値

(1) 具体的な取組とスケジュール

防災・減災対策の具体的な取組と実施時期は以下のとおりです。

施策	重点的に実施する地域	実施主体	実施時期の目標			
			短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)	
災害リスク回避	本計画の届出・勧告による立地誘導	居住誘導区域外	町			
災害リスクの除去・低減	洪水に備えた止水板の設置	都市機能誘導区域内	町・事業者			
	土砂災害に備えた建築物の外壁・擁壁の強化	面替・豊昇・塩野・清万区	事業者			
	災害危険区域の指定	居住誘導区域内 (ハザードエリア内)	町			
	避難場所設置の検討 (防災公園等)	塩野・清万・寺沢・面替・豊昇・草越区	町			
	避難路整備・改良 (洪水災害)	塩野・清万・面替・豊昇区	町			
	避難路整備 (浅間山噴火)	居住誘導区域	町			
	マイ・タイムラインの作成	町内全域	町・住民			
	避難計画の見直し (洪水災害)	塩野・清万・面替・豊昇区 都市機能誘導区域内	町・住民			
	広域避難計画の策定・公表 (浅間山噴火)	町内全域	国・県・町			
	雨水排水ポンプの設置	馬瀬口・小田井区	県			
	河川整備(中小河川)	繰矢川、濁川、湯川	県			
	住宅の耐震改修促進	町内全域	町			

(2) 目標値

御代田町国土強靱化計画と連携・整合を取り、立地適正化計画における防災指針の目標値は、以下のように設定します。

項目	現状値	目標値<<令和 24 (2042) 年>>
住宅の耐震化率	79.60% (R01)	100%
小中学校での防災教育の実施	1回 (R03)	5回
要配慮者利用施設での避難確保計画の策定	2団体 (R03)	15団体
個別避難計画作成	3地区 (R03)	全地区
自主防災組織の設立数	9組織 (R02)	全地区で結成

出典：御代田町国土強靱化計画（現状値）